

令和4年度第1回 国土交通省大阪航空局 入札監視委員会  
審 議 概 要

開催日及び場所	令和4年6月27日(月) 大阪航空局第2・第3会議室	
委員	委員長 竹林 幹雄 (神戸大学大学院教授) 委員 増田 達也 (大阪工業大学客員教授) 委員 定岡 由紀子 (弁護士)	
審議対象期間	令和3年10月1日～令和4年3月31日	
審議概要	<p>1. 報告</p> <p>2. 抽出案件</p> <p style="text-align: right;">総件数 3件</p>	
	(1) 工事	随意契約(不落随契) 1件
	(2) 建設コンサルタント業務等	一般競争(総合評価落札方式) 1件
	(3) 役務の提供及び物品の製造等	一般競争(総合評価落札方式) 1件
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する大阪航空局の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に問題は無い。今後も一層、公正で透明性をもって実施されることをお願いしたい。	

審議概要（別紙）

1. 報告

入札・契約手続きの運用状況について

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
○ 不調、不落の状況はどうか。	○ 不調・不落の推移は、令和3年度下期（不調10件、不落3件）、令和3年度上期（不調4件、不落0件）、令和2年度下期（不調2件、不落2件）、となっており、増えている傾向にある。

2. 抽出案件

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
<p>(工事)</p> <p>○ 一者応札が増えてきているというのは空港の施設であるため特殊性があるということなのか。</p> <p>○ 不調・不落入札が増えている要因として、土木、建築の施工管理技術者が不足し、輩出状況が極めて悪い状況であり、構造的な問題となっている。</p> <p>財務省がいわれている健全な一般競争入札環境の保全というのは、もの凄く大事であるが、実施できる環境が揃わなくなってきていると考える。</p>	<p>○ 空港内では、航空機の運航に支障がないよう工事区域や作業時間に制限がある場合や、無線施設、管制通信施設の設置など専門性が高く、施工能力を有する業者が限られる場合があり、応札者が少ない傾向であります。</p>